

1. 自立된 100教會의 設立
2. 主님의 일꾼의 養成
3. 작은 이웃들과 함께 사는 宣敎
4. 在日同胞의 삶에 同參하는 奉仕



THE GOSPEL NEWS

阪神大震災、その後1年

思い出すにも恐いあの震災から神戸の地に二度目の冬が過ぎようとしている。震災の地に住む人々に冬は長すぎる。雪に覆われていた仮設住宅には雪だるまを作り遊んでいる子供の姿は見えず、寒さに追われ戸を閉めるお年寄りの姿のみが目に入る。心の奥深くに残っている傷が癒されないまま、一年が過ぎていくのだ。家族を失い、心の通える友人から離れて鉄板の間に閉じ込められて生きている同胞たちに、私たちは何をしていたのか。

一年前、私たちは一瞬にして廃墟と化した人間の文明を目の当たりにして、人間であることの恥ずかしさと、人間のすることの空しさを痛感した。そして何とかして、救援活動や復興事業によって人間の誇りを少しでも取り戻そうとした。しかし日が経つに従って、天災の上に人災を積み重ねている人間の愚かさを確認するだけであった。とくに、キリスト教会は自分たちの

立つているところが露になっていることにより、地域の民衆たちから遠く離れていることに気付かされた。わたしたちは、救援活動の過程で阪神大震災の対策にまつわる諸問題が、震災以前からの教会のあり方や日本社会のあり方から必然的に出てきたことと認めざるを得なかった。

キリスト教会が、それぞれ阪神大震災に対する対策を講ずる段階で打ち出した活動方針は、そのような現実認識に基づくものであった。カトリック教会は、大阪教区から出された「教会新生のための基本方針」の中で次のように活動理念を明らかにしている。「大阪教区が目指す阪神大震災からの再建計画は、単に地震以前の状態に復旧することではなく、キリストの十字架と復活の新しい生命に与る『新生』への計画である。これは、被災地、しかもその中で特に『谷間』におかれた人たちの心を生きる教会を目指すことを意味する。と最近これら外国人

を助けることと同じ意味を持つ。私たちは韓国教会をはじめとする世界教会、そして日本の諸キリスト教団体の支援と協力を得て、不十分な西部地方の被災教会と被災外国人に救援の手を差し伸べることにできた。全国の教会から寄せられた献金と支援に改めて感謝の言葉を伝えたいと思う。

在日大韓基督教会の被災は、五教会の建物と十教会の一〇五世帯にのぼっているが、殆どの被災信徒たちが仮設住宅で不便な生活を強いられ続けている。一番被災が多かった長田区の神戸教会は、やっと建物の修理が終わったが、浮かんできている床下の上で椅子を並べている。なるべく早急に建て替える必要はない状況である。三軒にのぼる全壊・半壊の世帯が仮設住宅や仮住まいをしているが、壊れた家の再建計画は全然目途がつかず、わずかに一世帯だけがプレハブの家を建てた。工場が全壊された信

徒は、廃業状態にあり、生計までも危ぶまれる場合も多いという。明石教会は、建物の修理を済まして礼拝を守っているが、少ない信徒の中で五世帯が被災した。他に住むところがないため壊れた家で生活している信徒もいるようである。神戸東部教会は、建物のひび割れがひどいが、新築を準備している。教会の新築のために、三宮から十分程の生田川に土地を購入しようとしている。仮設住宅に住んでいる信徒が五世帯にのぼるが、四家族が仮設住宅の間で生活している場合もあり、はやく家を建てたいが資金がなく困っている。教会の裏にある公園には今もテント生活をしている被災者が残っている。川西教会は、去年十二月に教会の修理を終えたが、牧師館の修理はまだ残っている。震災地域の共通の問題であるが、人手が足りないために修理や建築が遅れている。震災の影響によって入院している信徒もあり、まだ被災の痕は癒されていない。武庫川教会は幸いに建物の被害が少なかったが、長老たちや信徒たちの工場と家が壊れたままである。在日大韓基督教会の被災教会は、全国教会及び世界教会から寄せられた献金四千六百万円によって教会建物の修理をほとんど終えたことは、何より感謝である。しかし被災信徒たちの状況は依然として厳しい。一〇五世帯の被災信徒の中で、家を建てたのが一世帯しかないが、それもプレハブの仮設である。

仮設住宅の問題は、日本行政の復興対策の象徴的なものとして注目されている。現在八万人の被災者が仮設住宅で生活していると言われているが、この内六五歳以上は三割を占め、場所によっては七七八割を占めており、老人問題として考えなければならぬ状況である。震災後一年間三九人が孤独に耐えられず自殺しているが、その大部分が年寄りである。金得三牧師は、ボランティアとして西宮市を中心に仮設住宅の訪問を続けているが、一年間、一〇二八名の被災者と直接出会ってその生活の実態を調べてきたという。金牧師によれば、多くの仮設住宅生活者が身体も精神も疲れており、震災による後遺傷を抱えているようだ。特に民族の生活文化を頼りに生きてきた在日同胞が仮設住宅で生活するということは耐え難い苦痛を強いられる。私たちは「阪神大震災によって多くの壁が壊されて人間と人間とが裸で出会うことができた」と、多くのボランティアたちの活躍を喜んで受け止めた。しかし震災後一年経って見ると、依然として厚くて高い壁が弱者の前に立ち塞がっていることを認めざるを得ない。近く見えた被災地と非被災地の距離は、時と共に離れて行き、被災者と非被災者の温度差は増している。また持つ者と持たざる者との格差は開くばかりである。今日の教会が壊された壁の跡を追ってその谷間まで降りて行かない限り、新しい壁が建てられて行くのを防げないかも知れない。いまここで、私たちはもう一度「忘れないでくれ」という神戸から聞こえてくる微かな御声に耳を澄まさない

(通信 趙載国 牧師)



マカオ会議に参加した連帯代表

東北亜細亜の 平和と 連帯協議会

마카오에서 12個国代表 参席

東北亜細亜の平和と連帯を 위한協議会が、昨年一月二十九日から二月二日までマカオで開かれた。世界十二個国から五十名が参席した。韓国、北の平和統一と協力を協議した。

一九九五年を「禧年」として、統一運動を南北教会が推進して来た。北教会は「成果を挙げないまま、禧年を過ぎてしまった」と、北教会が「禧年」を「マカオ」で「南北教会」の「代表」の「議題」が「あった」と、韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。

韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。

韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。

韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。

韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。

韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。韓国教会は「協力を」なす。

(通信 趙載国 牧師)

株式会社 ニューキング
有限会社 三愛

取締役社長 張 鐘 善
(名古屋教会長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三愛 岡崎市大和町荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

韓国家庭料理
有限会社 高馬宇

代表取締役 金 元 洙
(東京中央教会長老)

本店 〒105 東京都港区新橋3-18-4
TEL 03(3431)3921, 03(3435)7809
FAX 03(3435)0706
荏原中延店 〒142 東京都品川区中延2-8-13
田畑実業ビル1F
TEL 03(3785)1020

愛三産業株式会社

(株) 済州カントリークラブ

取締役会長 白 昌 鎬
(東京教会 長老)

取締役社長 白 一 善
(東京教会 執事)

本社 〒130 東京都墨田区江東橋4-6-4
TEL (03) 633-7477(代)
FAX (03) 631-7703

後援教会代表
(監督 崔基燮)
参加

紀念式

要

教育局(局長 朴憲郁)은
敎會學校 敎材를 準備하고
發刊하고 있다. 全敎會外

亞細亞教會와 共有하기의
해 第二回「마이노리티問題」

會에 憲法改正案을 내놓
게 되는데 對해 委員會의 努
力에 敬意를 表합니다。其

기를 바랍니다.

야 하리라 믿습니다.

가는 現實에서 이에
 切한 일꾼을 總會가
 任지고 養成해야 이 時

아 하리라 믿읍니다. 總會立神學校設立準備委員會(委員長 金君植)는 金君植牧師가 總會長 就任 인사에서 公約으로 세워 總會 任職員會에서 이를承認하고 委員會를組織하여 準備해 왔읍니다. 그간 多角度로 研究檢討現場 踏査等을 거듭하였읍니다. 總會立神學校設立은 무었보다 在日同胞를 섬기는 敎役者 養成과 在日同胞의 指導者 養成에 그 目的이 있습니다. 社會가 多樣化되어가고 複雜해지

가는 現實에서 이에 適切한 인문을 總會가 責任지고 養成해야 이 時代의 宣敎의 使命을 올바르게 감당해 갈 수 있으리라 믿읍니다. 또한 在日同胞社會에 있어서도 指導者가 不足하여 在日同胞社會도 危機에 놓여 있읍니다. 멀지않아 祖國이統一되고 在日同胞도 하나

가 될 때 民族団体나 民族敎育을 責任질 時代的 使命이 敎會에 주어지고 있음도 우리는 깊이認識해야 하겠읍니다.

聖經要理問答書とその講解 ③4

墮落が至らせた人類の罪 (3)

尹 宗 銀 牧師 (横浜教会)

なぜならば、彼らははじめるからわけて何が善であるか選択ができないからである。彼らは次のように「言いかねない。」「もしわたしがアダムに就いておられたとするなら、わたしは罪を犯さなかったであろう。しかし神はわたしが好き

なせならば、彼らははじめるからわけて何が善であるか選択ができないからである。彼らは次のように「言いかねない。」「もしわたしがアダムに就いておられたとするなら、わたしは罪を犯さなかったであろう。しかし神はわたしが好き

なせならば、彼らははじめるからわけて何が善であるか選択ができないからである。彼らは次のように「言いかねない。」「もしわたしがアダムに就いておられたとするなら、わたしは罪を犯さなかったであろう。しかし神はわたしが好き

なせならば、彼らははじめるからわけて何が善であるか選択ができないからである。彼らは次のように「言いかねない。」「もしわたしがアダムに就いておられたとするなら、わたしは罪を犯さなかったであろう。しかし神はわたしが好き

なせならば、彼らははじめるからわけて何が善であるか選択ができないからである。彼らは次のように「言いかねない。」「もしわたしがアダムに就いておられたとするなら、わたしは罪を犯さなかったであろう。しかし神はわたしが好き

なせならば、彼らははじめるからわけて何が善であるか選択ができないからである。彼らは次のように「言いかねない。」「もしわたしがアダムに就いておられたとするなら、わたしは罪を犯さなかったであろう。しかし神はわたしが好き

もうと否と関係なくわたしを強制的にアダムの境遇の中に押し込んでゐる」と。しかしながら、アダムが罪を犯す前に神はわたしをアダムとの関係をもたしたことが事実である。それゆえにわたしは、わたしたちの存在がはじまるその瞬間からまぎれもなくアダム自身と全く同じように神に対して反逆的であるということが事実である。神は罪のない人々をつかんで、彼らが好むも好まざるも関係なくアダムの罪の下に置くような方ではない。むしろ彼らは存在しはじめるその瞬間からアダムの罪の配下において、彼らの罪ある本性によってアダムと同じく罪人でありたいと欲している。聖経は「悪しき者は胎を出た時から、そむき去り、生れ出た時から、あやまちを犯し、偽りを語る」(詩篇58:3)と語っている。換言するならば、彼らがアダムの罪を立証して、完全な意味でその罪を共に担うものであると示している。

「宣教師としての外登法問題」の内実化・深化は、③日韓の教会による共同プログラムの到達点と今後、④一九九八年に向けての取り組みと中期の展望・戦略の各論を受けて分団協議をもった。

翌十五日、カトリック観音町教会の後藤正司司祭による聖書研究のあと、全体協議。今年度の取り組みとして「外国籍住民」地域ミ二集会を各地で積み重ねていくこと、第五回国際シンポジウムを日本で開催することなどを確認した。

昼食のあと、韓国の原爆被害者を支援する市民の会、広島支部の豊永恵三郎氏、(キリストを除いて)すべての人がアダムの罪にあずかることを理解することにおいて「わたしたちの見解では」難解中の難解のひとつは「霊魂創造説の教理である。この霊魂創造説の教理は「からだ」は普通の生殖の方法でアダムから由来しているが、しかし「霊魂」は直接神から創造されたという。この教理に従うならば、わたしたちの性質の中の物質的部分はわたしたちの父母から来るが、非物質的部分(霊魂)は神の創造の行為によってわたしたちに与えられたのである。このような見解から見て、からだはアダムから見て、からだはアダムと同じく罪人でありたいと欲している。聖経は「悪しき者は胎を出た時から、そむき去り、生れ出た時から、あやまちを犯し、偽りを語る」(詩篇58:3)と語っている。換言するならば、彼らがアダムの罪を立証して、完全な意味でその罪を共に担うものであると示している。

「ルカ10:25」を歴史的に刻む会館の澄田三郎牧師、日本基督教団東中国教区の日大韓基督教教会との宣教師協力委員会の難波幸矢氏が報告し、草の根の取り組みが少しずつ地域社会、教会を変えていくことを実感させた。

今度、会場を日本バプテスト連盟広島教会に移して、「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「1998年廃止」をめぐって 外登法



一九八七年に日本基督教団など十二教派団体と八地域の外登法とで結成された外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会(以下「協議会」)は今年一月十四、十五日、広島県立母子福祉センターで、第十回全国協議会を開催した。全国から外登法および教派団体の代表者四十七人、また韓国教会の日同胞人権宣教師協議会と韓国NCC人権委員会からも五人が参加した。

一日目、開会礼拝で麦仁道牧師が「新しい宣教師の取り組みを求めて」と題して説教。そのあと①一九八〇、九〇年代外登法改正運動の中で外登法の歩み、②

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

「第十回外登法の抜本的改正を求める全国キリスト者一・一五集会」に参加者は会場一杯の一五〇名。金信煥牧師の開会祈禱で始まった第一部では、日本基督教団西中国教区総会議長の八十川昌代牧師が「隣人との共生」をテーマに、

創業40年 通信・OA・OR機器全般販売・工事 簡易通訳設備

○300MHz使用(FMではない) ○工事不用 ○導入簡単

髙徳通信工業

代表取締役 李 建 豪 (名古屋南教会 長老)

〒490-11 愛知県海部郡大治町大字砂子字村東2336
電話 (052) 431-3156(代)
FAX (052) 431-3190

不動産業務全般

免許番号・愛知県知事③第5426番

太栄企業株式会社

代表取締役 金 光 洙 (名古屋教会 長老)

事務所 名古屋市熱田区川並町2番21号 (名古屋中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 052(682)1177(代)
自宅 名古屋市千種区御影町2-55-5
電話 052(711)4398

創業30年 (1996年)

韓国への引越しは……

コスモス

東京 ☎(03)3501-1487
大阪 ☎(0729)39-6911
福岡 ☎(093)622-3746

代表取締役 金 慶 得 (東京第一教会 長老)

青年会 韓国基督教青年訪日交流

昨年十二月五日、韓国基督教青年協議会(EYCK)から五人の青年が日本を訪れた。彼等の訪日は一九七九年の第一回韓日基督教青年協議会(韓日協)以来、四年に第八回を迎えた。韓日協において、私たちが在日大韓基督教青年会全国協議会(全協)とNCC青年協議会(NCCY)と、そしてEYCKの三者間で、相互の活動・課題を理解・共有するため、具体的な交流プログラムを持つことが合意され、それによって実現したものである。受け入れ側の全協とNCCYの参加者のほとんどが関西地域に集中していたため、今回のプログラムは京都、大阪と神戸を中心とした内容となった。

初日はEYCKメンバー全員が日本を訪問するの初めてという事で、それを考慮し、耳塚や豊国神社などといった豊臣秀吉の侵略の史跡巡りを行った。

二日目は在日の「不法占拠」集落と言われる東九条の四十番地を回り、その歴史と現状から在日の負ってきた歴史と日本人を交えた新しい街づくりへの取り組みを学んだ。韓国でも近年、不法占拠地域の強制撤去に対して様々な議論と運動が民衆の中から起こっており、類似した状況を目の前にして、EYCKメンバーは四十番地を非常に身近に感じたと同時に、自分たちの問題としても捉えたようであった。

三日目は、在日をはじめ多くの外国人が被災した神戸市長田区を訪れた。鷹取

カトリック教会内に設置された被災外国人の生活支援、復興活動の拠点となつていて、定住外国人生活復興センターに行き、三人の方から話を聞くことができた。特に印象に残ったのは在日ベトナム人被災者の話であった。日本人と同じ被災している街の仕組みなどを知り、経済大国日本と比べられるその陰にそれを支える大きな犠牲があることを改めて認識した。また、そのキリスト者の活動を知り、励まされた。

今回の訪問プログラムを通して参加者全員が、まだまだ知らないこと、目を向けていないことが沢山あったこと、そして行く先々で発見したこと、学んだこと、また、私たちと違った視点をもつEYCKメンバーとの意見の交換によって、運動や活動に対する視点が少し変わったように思う。また、キリスト者としてその教えと信仰を社会でどのように現して行くべきなのか、深く考えさせられたプログラムであった。

その夜はプログラムをオーブンな形にして、大勢の参加者と共に「わが家あいの家の家」の歌を歌い、ビデオを観賞し、従軍慰安婦問題や男女の関係について、そして社会やメディアによって作られた歪んだ性意識、それによって起こる性暴力の問題など、様々な視点から意見が交換された。性の問題になると大抵女性のほうから被害者の立場としての意見が出され男性は縮こまっているのだが、この時ばかりは男性のほうからも意見が次々と飛び出し、討議が盛り上がった。

最後の日(八日)は、朝五時に日本最大の日雇い労働者の街である釜ヶ崎を訪れた。仕事を求めて集まった労働者と彼等を拾いに行つて来る車とでつた返し、た街を歩いて回り、日雇い労働者がこの街で暮らすことのできない状況や、警察などによって管理されている街の仕組みなどを知り、経済大国日本と比べられるその陰にそれを支える大きな犠牲があることを改めて認識した。また、そのキリスト者の活動を知り、励まされた。



北巽小学校の民族学級を訪問する

長野伝道所が 세워지기까지 (4)

執事7名を 択하여

組織教会로

金正柱 牧師 (長野伝道所)



一九九四年度に、主要な祈禱題目は、(1)長野教会の復興、(2)地域社会への伝道、(3)信徒の生活、(4)貧困、(5)平和、(6)環境、(7)国際関係、(8)家族、(9)健康、(10)教育、(11)文化、(12)芸術、(13)スポーツ、(14)レジャー、(15)その他。以上が一九九四年度の主要な祈禱題目であった。

一九九四年度の長野教会の現況は、(1)信徒の増加、(2)教会の活動の活性化、(3)教会の財政の安定、(4)教会の設備の整備、(5)教会の広報の充実、(6)教会の国際関係の強化、(7)教会の家族の健全化、(8)教会の健康の増進、(9)教会の文化の発展、(10)教会の芸術の振興、(11)教会のスポーツの推進、(12)教会のレジャーの充実、(13)教会のその他。以上が一九九四年度の長野教会の現況であった。

一九九四年度の長野教会の組織は、(1)信徒の増加、(2)教会の活動の活性化、(3)教会の財政の安定、(4)教会の設備の整備、(5)教会の広報の充実、(6)教会の国際関係の強化、(7)教会の家族の健全化、(8)教会の健康の増進、(9)教会の文化の発展、(10)教会の芸術の振興、(11)教会のスポーツの推進、(12)教会のレジャーの充実、(13)教会のその他。以上が一九九四年度の長野教会の組織であった。

一九九四年度の長野教会の執事は、(1)信徒の増加、(2)教会の活動の活性化、(3)教会の財政の安定、(4)教会の設備の整備、(5)教会の広報の充実、(6)教会の国際関係の強化、(7)教会の家族の健全化、(8)教会の健康の増進、(9)教会の文化の発展、(10)教会の芸術の振興、(11)教会のスポーツの推進、(12)教会のレジャーの充実、(13)教会のその他。以上が一九九四年度の長野教会の執事であった。

一九九四年度の長野教会の組織は、(1)信徒の増加、(2)教会の活動の活性化、(3)教会の財政の安定、(4)教会の設備の整備、(5)教会の広報の充実、(6)教会の国際関係の強化、(7)教会の家族の健全化、(8)教会の健康の増進、(9)教会の文化の発展、(10)教会の芸術の振興、(11)教会のスポーツの推進、(12)教会のレジャーの充実、(13)教会のその他。以上が一九九四年度の長野教会の組織であった。

一九九四年度の長野教会の執事は、(1)信徒の増加、(2)教会の活動の活性化、(3)教会の財政の安定、(4)教会の設備の整備、(5)教会の広報の充実、(6)教会の国際関係の強化、(7)教会の家族の健全化、(8)教会の健康の増進、(9)教会の文化の発展、(10)教会の芸術の振興、(11)教会のスポーツの推進、(12)教会のレジャーの充実、(13)教会のその他。以上が一九九四年度の長野教会の執事であった。